

アウトリーチ型支援事業 合同研修Ⅰ開催報告

アウトリーチ支援事業は、東京都ナースプラザの職員が、病床数または稼働病床数が200床未満の参加病院を訪問し、看護管理者が抱える課題解決に向けた取り組みを、1年間通して支援しています。

令和8年度支援病院を対象とした「合同研修Ⅰ」を7月3日（金）に開催し、自病院の地域での役割や課題を整理し、目標達成に向けた取り組みを共有しました。

- 講義** テーマ：自病院のめざす患者の姿や看護ケアを語り、未来像を共有する
講師：東京都立大学大学院 人間健康科学研究科看護科学域
看護倫理・管理学 准教授 國江慶子先生
- グループワーク** テーマ：自病院のこれからについて看護管理者と共に語り合う



合同研修Ⅰの目標

- ・ 自病院の目標達成に向けて、取組内容を考える
- ・ 取り組みの評価指標が分る

16病院49名の看護管理者・コアメンバーが、自病院のめざす姿や地域で果たす役割について考えました。



参加者の感想（アンケートより）

- ・ 看護師が患者に対してどう向き合うか、どのような看護を提供すると自病院が地域に選ばれるかがイメージできた。
- ・ 問題解決ではなく、到達したい未来への視点を持つことの大切さがわかり、明日以降実践に取り組みたいと思った。
- ・ これまで定量評価ばかりにとらわれていたが、定性評価を取り入れることでよりスタッフや患者の評価の幅が広がると思いました。

今後のご案内

次回の合同研修Ⅱは、11月6日（金）に開催します。

次年度参加病院募集の事業説明会は、令和9年2月頃に予定しています。

※アウトリーチ型支援事業は、看護管理者の皆様を応援しています。